

運輸の安全・安心の確保

防災・減災

今後、予想されている南海トラフ大地震や台風等の自然災害の発生に備えて防災・減災に向けた取組を行っています。



災害対策本部会議

国土交通省

九州運輸局 令和7年度運輸防災セミナー (風水害)開催のお知らせ

大規模自然災害が発生した場合、個々の運輸事業者による対応だけでなく、地方運輸局、地方公共団体、運輸事業者等が連携し、被災者への緊急支援物資輸送や不通となった鉄道等の代替輸送等を確保することが社会的な使命として求められています。

当該セミナーでは、国の関係機関より、運輸事業者等が活用できる防災情報や支援メニューを提供するとともに、運輸事業者等の取組事例等の紹介を行うことで、災害対応力の維持・向上、連携を図ることを目的としています。



運輸防災セミナー

鉄道の安全確保



鉄道は、安全性、定時性に優れているとともに、大量輸送機関として、私達の日常生活になくてはならないものです。安全に利用していただけるよう指導・監督を行っています。

鉄道・索道の安全確保

施設・車両の状態や運転取扱いについての保安監査を実施するとともに、保守点検の確実な実施と事故防止対策を指導しています。



鉄道施設の完成検査



索道の指導・監督

災害からの復旧支援

被災した鉄道施設の早期復旧に向け、関係者間で連携し技術的支援を行っています。



復旧中の球磨川第四橋梁(くま川鉄道)

運輸の安全・安心の確保

自動車の安全確保



自動車の登録

自動車登録情報の管理は、保有実態の把握や犯罪防止、自動車取引の安全確保など、「くるま社会」を支える基盤として重要な役割を果たしています。2023年1月から電子的な書き換えができる新たな車検証（電子車検証）の交付を開始しました。

また、地域の魅力を発信する図柄入りナンバープレートを交付しています。申し込みの際に募集している寄付金は、導入地域における交通改善、観光振興などの取組に活用されています。



自動車の検査、街頭検査、点検整備

検査場で、保安基準への適合性を一定期間毎にチェック（車検）しています。車載式故障診断装置（OBD）を用いた検査を2024年10月より開始しています。また、不正改造車の使用を排除するため、警察、関係団体と連携して街頭検査を実施しています。



自動車運送事業者の監査・指導

バス・タクシー・トラック運送事業者に立ち入り監査や街頭取締りを実施し、法令違反が確認された場合は厳正な行政処分を行うなど、指導・監督に取り組んでいます。



過積載取締



街頭指導



自動車事故防止セミナー

船舶の安全確保



立入検査・安全指導

日本船舶に対しては、運航管理や船員の労務・安全衛生管理に関する監査、多客期における安全総点検の他、運航管理者や乗組員を対象とした講習会など安全指導を行っています。
外国船舶に対しては、国際基準への適合性を確認するため、立入検査を行っています。

船舶への立入検査



船舶検査・登録測度・船員の資格

船舶が安全に運航するために必要な構造や設備の検査、海事諸制度の基準となる総トン数の測度を実施し、船舶登録を行っています。
また、船員が船舶に乗り組むために必要な資格の認定や確認を行うとともに、海技試験や水先人の国家試験を実施しています。

船舶検査・測度



海技士国家試験



運輸安全マネジメント

鉄道や自動車、船舶で輸送を行う事業者には「運輸安全マネジメント」評価を実施し、安全管理体制の構築や改善状況について評価や助言を行っています。



運輸安全マネジメントセミナー

